

第1回廈門支部・福州支部合同食事会

守屋久美子 (C平22、MP平23)

2013年9月14日に、廈門・九龍塘二号で廈門支部・福州支部合同の食事会を行いました。福州支部は2013年2月に結成したばかりで、今回が初めての活動となりました。参加者は廈門支部3名、福州支部5名に加え、東京から小林二男外語会理事 (C昭46) をお招きし、総数9名となりました。写真向かって左側前列から、廈門大学の住岳夫さん (MP平17)、廈門支部長で廈門大学の黄少光さん (DP平15)、小林二男理事、福州支部長で福州大学の潘秀蓉さん (DP平18)、守屋、写真向かって左側後列より、廈門大学大学院修了生の梁奕華さん、福州大学の何美玲さん、木村史人さん、黄鶯さんです。梁さんと何さん、黄さんは外語に短期留学をされた経験をお持ちです。木村さんは外語卒ではありませんが、福州支部に準会員として参加しています。

小林理事は今回9月上旬に福州大学で1週間にわたって日本の言語や文化についてのご講義をなされ、学生たちと積極的な交流をなさいました。せっかく小林理事が福州にいらっしゃるなら、ということで、廈門支部にも呼びかけ、合同で食事会を開催いたしました。



食事は海鮮を中心としたお料理で、廈門の郷土料理である「土筍凍」やお刺身、海蛎煎(牡蠣の卵焼き)など多種多様なお料理に舌鼓を打ちながら、おいしい紹興酒をお供に外語の昔と今の話に花を咲かせました。食事の後は廈門支部長の黄さん行きつけの喫茶店に場所を移し、お茶やお酒を飲みながら語りました。楽しい話が夜遅くまでたえませんでした。

廈門と福州はともに福建省にあり、新幹線で2時間ほどの距離にありながら、これまで交流はありませんでした。今回の合同食事会を通して、これからは小規模支部同士、積極的に交流を図っていきたいと考えております。また、会員についても廈門や福州にかぎらず福建省内にご在住の方はぜひご連絡ください。

Madrid 東京外語会

祝！ 日本スペイン交流400周年記念

寺内英之 (R昭60)

2013年7月15日、外語会マドリッド支部昼食会が、当地 Villa Magna ホテル内の中華レストランにて開催されました。

この席で、外語会マドリッド支部長でいらした加瀬さんが、IESE 経営大学院から国際大学経営大学院学科長として日本に移られることになった旨報告がありました。また、在スペイン日本国大使館で勤務され、当事務局長でいらした中谷さんも日本に帰国されることになった旨報告がありました。

昼食会では、スペインの政治、経済、金融含めて広範囲に渡る情報交換がなされましたが、その話題の中心は、日本スペイン交流400周年でした。

日本スペイン交流400周年とは、初めて公式にスペインへ派遣された慶長遣欧使節団が、1613年に現在の石巻市月ノ浦港を出港したことにちなんでいます。伊達政宗が、支倉常長を大使とするこの使節団をスペインに送った目的は、当時のスペイン領メキシコとの通商関係の樹立であったとされています。そして、その背景には、その2年

前の1611年、岩手県三陸沖に発生し、その津波被害によって多大な死傷者をもたらした慶長三陸地震があったと言われています。即ちこの使節団の目的は、当時その地を襲った地震・津波被害からの復興を目的としたものだったのではないかとということなのです。

今まで見たこともないような大型船を短期間で建造し、命がけの使命を帯びて大海に乗り出していく。その実行力と使命感……。400年後の今、まさに同じ状況に直面している私たちも深く考えさせられるエピソードだと思います。

交流年にちなんで、スペインと日本では様々な行事が開催されています。この6月には、皇太子徳仁親王殿下が来西され、開幕記念音楽会を含めた様々なイベントに臨席されました。ご訪問された地の一つコリア・デル・リオには、慶長遣欧使節団の中でそのままこの地に残ったメンバーの末裔と言われるハボン（Japón）姓を持つ人々が大勢いらっしゃいます。

今回昼食会に出席された在スペイン佐藤大使他多くの方々が、様々な交流事業に携わりながらこ



前列左より、小川愛さん、下越理水さん、中谷一夫さん、小倉真理子さん

後列左より、宮崎光世さん、神崎泉さん、加瀬公夫さん、佐藤悟さん、寺内英之、山本正恵さん、小坂真理さん

の記念すべき年を盛り上げています。

2013年11月には、交流400周年事業の一環である「日本スペイン大学学長交流会」に出席される為、立石博高学長及び川上茂信准教授が、スペインを訪問されるとのニュースも入って来ており、当地外語会のメンバーは今からその日を心待ちにしているところです。（2013年7月15日記）

トルコ支部から ～ 海外支部歴訪の旅ご一行との交歓会レポート～

カドウザーデ温子 (Tr平14)

去る2013年9月、有志による海外支部歴訪の旅のご一行がトルコにいらっしゃり、21日（土）夜には、イスタンブールにて、トルコ支部メンバーとの交歓会を開催いたしました。トルコ支部からの参加者は支部長の私自身と幹事の津久井さん、その他に4名（蔵田さん、石井さん、宮澤さん、野崎さん）の計6名でした。

その模様を簡単にご報告させていただきます。

交歓会の会場はブリッジレストランというレストラン。アジアとヨーロッパを結ぶボスポラス第一大橋が大きく見渡せる小高い丘の上にあります。時期も、9月半ばということで、まだまだ屋外が気持ち良いシーズンでしたので、テラス付きのセクションを貸切にいたしました。

当日は、石原団長からのご挨拶につづき、乾杯、

そして立石学長、上原理事長から頂戴したメッセージも読みあげいただき感激もひときわ高まったところで、会は順調にスタートいたしました。トルコ料理のコースそれからトルコ産のビールやワインをいただきながら、まずは、日本からいらした15名様からの自己紹介、続いてトルコ支部メンバーが1人1人自己紹介、という流れでした。どの方の自己紹介もとても興味深く、もっと深くお聞きしたいことがたくさんありましたし、お酒の効力もあって、笑い声が何度もあがる愉快的な時間でしたが、楽しいときというのはあっという間にすぎるもので、全員の自己紹介が終了する頃には、会の終了時間がだいぶせまっている状態でした。

海外歴訪の旅は今年で15回目で、参加者の方々



当日はたまたま新田さん(左端)と筆者の誕生日、サプライズバースデーケーキがありました

も何度も参加している方も多とのこと、どうりで皆様とても親しげでアットホームな雰囲気があふれていたのが印象的でした。

ところで、今回参加したトルコ支部のメンバーは40代1名、30代4名、20代1名でしたが、ツアーご一行の皆様は、私たちの親またはそれ以上の世

代の方々でしたので、実は、トルコ支部メンバー一同、大先輩の方々に前にもどのようなおもてなしをすればよいのか、どのようなお話をすればよいのか、直前まで大変緊張していたのですが、いざ当日対面してみれば、皆様それはそれは温かくとても気さくな方たちで、直前までの不安と緊張も吹き飛び、リラックスした時を過ごすことができました。

楽しい気分の中、日本から用意してくださった垂れ幕を掲げて全員集合の記念写真撮影。名残惜しい気持ちの中で、お帰りのバスに乗り込むツアーの皆様をお見送りし、交歓会は無事に終了しました。

日本からおいでくださった皆様方、それからトルコ支部メンバーの皆さん、素敵な初秋の一夜をありがとうございました！

宮城支部懇親会 — 新学長をお迎えし4年振りに懇親会開催

山崎恭平 (U昭41)

宮城支部は秋深い11月16日(土)の午後、仙台国際ホテルで久しぶりの懇親会を開催した。大震災もあって4年振りの開催となったが、今回は立石博高学長をお迎えし、3時からまず大学のアクションプラン等の近況報告に続いて、『支倉常長と慶長遣欧使節』と題して被災地東北にふさわしいテーマで1時間ほど講演をいただいた。その後は懇親会に移り、外語会からは田中副理事長と白鳥支部委員長も参加され、支部からは新生大学になってから始めての大先輩から平成20年卒の若手卒業生、あるいは卒業生のご両親や友人等28名が出席し、盛会のうちに交流や親睦を深めることが出来た。

立石学長は、東日本大震災からの復興過程で400年前に同じく大震災でその復興を目指した遣欧使節に関心が高まっている折に、ご専門から貴重なご知見とご見解を披露された。学長は前日には仙台博物館の特別展を見学され、当日午前には仙台支部の幹事も一緒に石巻市を訪問、被災から復旧したサンファン・パチスタ号と博物館を



ご覧になっている。ご講演された当時のヨーロッパや徳川幕府の史実を踏まえると、東北で高まっている関心や話題はやや期待感が先行しているくらいがあると思われた。

久しぶりの懇親会は、大いに盛り上がった。話題は、慶長使節をめぐる質疑、大学や外語会の現状にとどまらず、大震災の体験、東北の復旧復興、東北楽天ゴールデンイーグルスの優勝、さらには2020年の東京オリンピック開催に及んだ。そして、6時近くに各位のさらなるご健勝と大学の発展、そして東北の復興を祈念し再会を約して閉会をした。

イタリア支部総会のご報告

松山二郎 (I 昭50)

2013年10月26日(土)のお昼にミラノで東大イタリア支部総会を開催しました。場所はミラノ中央駅からも近いタイ&中国料理レストランの「SHANGRI-LA」というお店です。イタリア支部の登録会員は現在31名、そのうち12名が各地より集まりました。

今年の総会は特別ゲストとして、マリーザ・デイ・ルッソ先生をお迎えし、合計13名で行いました。参加者は、大島悦子 (I 昭49)、松山二郎 (I 昭50)、松田二郎 (I 昭52)、藤沼緑 (I 昭55)、一杉しげみ (I 平1)、今野里美 (I 平2)、丸山圭子 (I 平3)、林香織里 (I 平4) 古川澄子 (I 平6)、神尾光臣 (I 平8)、工藤尚美 (I 平8)、長久翠 (I 平20) (卒業順、敬称略) でした。イタリア支部再開後第4回の総会として支部長の挨拶、幹事から会員名簿と状況報告、写真撮影を済ませ、昼食会へと移りました。

何と言っても特筆すべきは、遠くペスカーラから泊りがけで駆けつけてくださったマリーザ・デイ・ルッソ先生との再会でした。昭和46年より27年の長きにわたりイタリア語を教えていただいた恩師を囲み西ヶ原の外語時代を懐かしみ感慨



に浸りました。中には卒業後30年以上の時を超えて、まさに邂逅し目頭を熱くする会員もいました。「お元気?」「良い人生をおくっていますか?」といった簡単で短い会話の中に先生の聖母マドンナのような慈愛を垣間見て胸が熱くなったものでした。

お互いの近況等であっという間に3時間が過ぎてしまい、一旦お開きとなりましたが、その後もほとんどのメンバーで近くのコーヒーショップに移り、参加できなかった会員からのお便りを読み上げたり、西ヶ原キャンパス跡地に記念碑が建立された事に感激したり、和気あいあいの中、散会となりました。

平成25年度東京外語会新潟支部会のご案内

平成25年度東京外語会新潟支部会を下記の日程で開催しますので奮ってご参加くださいようお願いいたします。

日 時：平成26年2月16日(日) 12:00～14:00

場 所：Anfora (アンフォラ) イタリアンレストラン

〒951-8061 新潟市中央区西堀通5番町840-1 (新潟三越隣)

電話番号：025-226-3723：パールイタリアーノ・トラットリア

参加費：6,500円 (年会費500円込み)

申込・問合せ先：新潟支部事務局 富山栄子 (R 昭61) まで

メール (eikod@nifty.com) にてお願い致します。